

令和 6 年度(2024 年度)小中高生の外務省訪問
(3 月分)

令和 7 年 4 月 9 日

●東京都 私立東京農業大学稲花小学校(令和 7 年 3 月 4 日)

講 師: 杉木貴大 在チェンマイ総領事館 副領事

開 催 形 式: オンライン



●東京都 私立かえつ有明中・高等学校(令和 7 年 3 月 7 日)

講 師: 小林まどか 大臣官房国内広報室 事務官

開 催 形 式: 対面



●群馬県 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校(令和7年3月12日)

講師: 大澤暁 大臣官房国内広報室 首席事務官

開催形式: 対面



●東京都 私立東京女学館中学高等学校(令和7年3月13日)

講師: 玉浦周 大臣官房総務課 企画官

清水真央 大臣官房総務課 主査

開催形式: 対面



●富山県 県立高岡高等学校(令和7年3月13日)

講 師: 西田大輔 総合外交政策局国際平和協力室 主査

開 催 形 式: 対面



●京都府 京都市立堀川高等学校(令和7年3月14日)

講 師: 森みのり 内閣官房副長官補付(外務省併任)参事官補佐

開 催 形 式: 対面



●群馬県 私立共愛学園高等学校(令和 7 年 3 月 28 日)
講 師: 大澤暁 大臣官房国内広報室 首席事務官
開 催 形 式: 対面



参加生徒からの感想(抜粋)

- クイズや体験談があり楽しめるオンライン訪問となった。海外で、盆踊りが行われていることが印象的だった。日本国内でも外国の文化を沢山体感していきたい。
- 職員の話聞き、ニュースで見る会談等の裏に、多くの人達による支えがあると知りワクワクした。今後、国際情勢のニュースに注目したいと思った。
- 職員との懇談は、とても興味深く面白かった。外務省は様々な国や地域と日本を繋ぐ架け橋のような大切な組織であると改めて感じた。
- 将来は英語を使った仕事を希望している。職員から、色々な国の人とさまざまな言語でコミュニケーションをとり、交渉した体験談を聞くことができ、勉強になった。
- 将来の夢である外交官から、現場の生の声を聞くことができ、良い訪問になった。また、日本のために外交はどうあるべきか、につき考えを深めることができた。

先生からの感想(抜粋)

- 普段は見られない外務省を見学し、職員から業務を伺うことで、キャリアの面で生徒達の知見が広がったと考える。卒業生の登壇により、生徒達は外務省を身近に感じていた様子だった。
- 内容、時間含めて有意義な訪問だった。パンフレットや職員の説明が分かりやすく、生徒達は、自分で更に調べたいと思えるような学びを得たと考える。